

日本作物学会東北支部

第62回総会、講演会および現地研修会プログラム

日本作物学会東北支部会 支部会事務局
秋田県立大学生物資源科学部アグリビジネス学科
〒010-0444 秋田県南秋田郡大潟村字南 2-2

日本作物学会東北支部第62回総会、講演会および現地研修を下記により開催します。
会員各位の多数の参加をお待ちしております。

1. 会場：秋田市にぎわい交流館AU・（あう） 4F 研修室1および2
（会場の位置およびアクセスは、下記10.参照）

2. 期日及び日程

- (1) 1日目：令和元年8月19日（月）

開場	9:00	
評議員会	9:15～10:45	4F研修室2
講演会（午前の部）	11:00～12:00	第1会場（4F研修室1） 第2会場（4F研修室2）
昼食（研修室で飲食可能ですが、ゴミは各自で持って帰ってください）		
講演会（午後の部）	13:00～15:00	第1会場（4F研修室1） 第2会場（4F研修室2）
総会	15:15～16:30	第1会場（4F研修室1）
（本学会（日本作物学会）からの情勢報告があります）		
情報交換会	18:00～	秋田駅前 グラン炭（グランタン） （秋田市中通4-14-30 tel:050-5571-3451 ） 会費：5,000円

- (2) 2日目：令和元年8月20日（火）

現地研修会：「スマート農業技術の開発・実証プロジェクト」実証圃場視察
9:00 秋田駅東口集合・受付・出発
10:00～10:40 現地研修 農業組合法人たねっこ
（住所：大仙市協和小種字鏡台109-1）
11:00～11:15 秋田県農業試験場 小休憩
12:00 秋田駅東口解散

- (3) 講演発表の方は、**Microsoft WordまたはPDF**で作成した講演要旨のファイル（講演番号は本紙裏面のプログラムにあります）を**8月8日（木）までに**提出してください。提出先は、過日メールでお知らせした通り（佐藤孝夫、takaosakita@gmail.com）です。
- (4) 講演にはパソコン(Windows版PowerPoint)によるプロジェクターが利用できます。パソコン利用の方は、USBにデータを保存して当日お持ちになり、講演時にパソコンに差しご講演ください。これ以外のソフトを利用する場合は、各自でパソコンを持ち込み、プロジェクターに接続願います。
- (5) 1課題の発表時間は、12分、質疑3分、計15分です。

3. 参加費（当日会場で徴収します）
情報交換費 5,000円
現地研修会 1,000円（バス借り上げ料）

4. 評議員会
日時：令和元年8月19日（月）9:15～10:45
場所：秋田市にぎわい交流館AU 4F研修室2
（開場は9:00なので、その時間より早く来場されても入場できません）

5. 第62回運営委員会事務局

住所：〒010-1231 秋田市雄和相川字源八沢34-1
 担当：秋田県農業試験場 作物部長 佐藤孝夫
 TEL：018-881-3335 e-mail: takaosakita@gmail.com

その他

会場では、飲食可能ですが、ゴミは各自で持ち帰るようご協力願います。

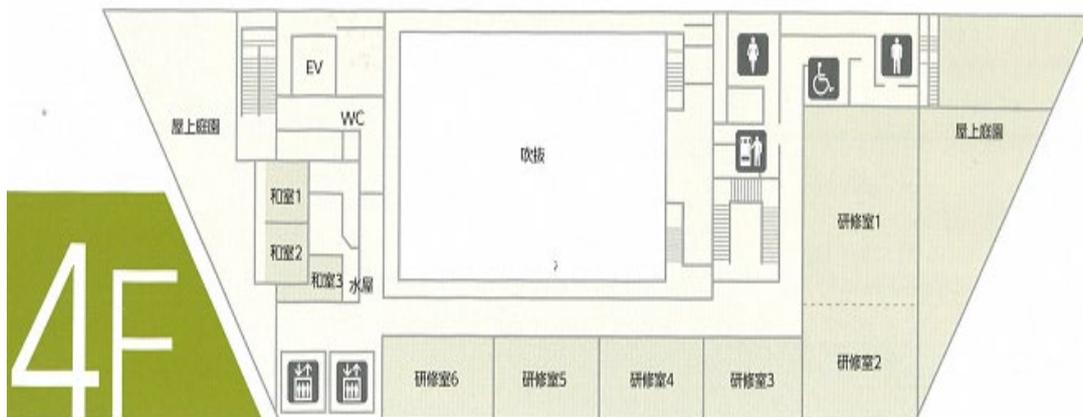
会場

にぎわい交流館「AU・あう」
 〒010-0001 秋田市中通一丁目4番1号 TEL 018-853-1133 FAX 018-884-4788
 HPアドレス <https://www.akita-nigiwai-au.jp/>
 駐車場：隣接しているコインパーキングなかいち駐車場（下図の商業駐車場棟）※が利用できます。※ akita-nakaichi.com/nakaichi/access.html

昼食は、周辺の食堂、コンビニなどをご利用ください。



- JR秋田駅西口 徒歩約7分
- [秋田中央交通バス]千秋公園入口 徒歩約1分
- 秋田自動車道秋田中央IC 車で約15分
- [秋田中央交通バス]中通二丁目 徒歩約1分



日本作物学会東北支部会第62回講演会プログラム

第1会場				第2会場				(講演時間12分 質疑応答3分)	
時間	講演番号	発表タイトル	発表者	所属	時間	講演番号	発表タイトル	発表者	所属
11:00	11:15	1 水稲新品種「だて正夢」の生育指標	○大川茂範 ¹⁾ , 阿部倫則 ¹⁾ , 北川誉 ²⁾ , 今野智寛 ¹⁾	¹⁾ 宮城県古川農業試験場, ²⁾ 宮城県農業・園芸総合研究所	11:00	12	福島県内における酒造好適米「山田錦」の生育特性	○吉田直史 ¹⁾ , 佐藤弘一 ²⁾ , 新妻和敏 ³⁾	¹⁾ 福島県農業総合センター, ²⁾ 福島県農業総合センター会津地域研究所, ³⁾ 福島県ハイテクプラザ会津若松技術支援センター
11:15	11:30	2 開花後の畑条件が水稲の登熟優先度調節に及ぼす影響	中村貞二	東北大学大学院農学研究科	11:15	13	高品質・良食味系統"福島40号"の炊飯米における微細構造的特徴	○新田 洋司 ¹⁾ , 渡邊芳倫 ¹⁾ , 石井秀樹 ¹⁾ , 木村 晋明 ²⁾	¹⁾ 福島大学食農学類, ²⁾ 福島県農業振興課
11:30	11:45	3 鉄コーティング時のイネの種子含水率が低温遭遇後の生存率に及ぼす影響	○及川聡子 ¹⁾ , 西政佳 ²⁾ , 由比進 ²⁾ , 鈴木健策 ³⁾ , 相川直子 ³⁾ , 松波麻耶 ³⁾ , 下野裕之 ³⁾	¹⁾ 岩手大学大学院連合農学研究科, ²⁾ 岩手大学農学部附属寒冷フィールドサイエンス教育研究センター, ³⁾ 岩手大学農学部	11:30	14	岩手県および沖縄県における低アミロース米の食味関連形質の比較	○小館琢磨 ¹⁾ , 田中洋貴 ²⁾ , 伊禮風沙 ²⁾ , 安江紘幸 ³⁾ , 岡留博司 ²⁾	¹⁾ 岩手県農業研究センター, ²⁾ 沖縄県農業研究センター名護支所, ³⁾ 農研機構東北農業研究センター, ⁴⁾ 農研機構本部
11:45	12:00	-	-	-	11:45	15	異なる水稲湛水直播栽培方法における食味官能評価	○菅野博英	宮城県古川農業試験場
12:00	13:00	休憩			12:00	13:00	休憩		
13:00	13:15	4 GNSS自動操舵田植機による無落水移植が水稲の生育および収量に及ぼす影響	○加藤雅也 ¹⁾ , 進藤勇人 ²⁾ , 佐山裕 ³⁾ , 齋藤雅憲 ³⁾ , 長坂善禎 ⁴⁾ , 近藤正 ⁵⁾ , 藤原行毅 ⁶⁾ , 矢治幸夫 ⁵⁾	¹⁾ 現秋田県東京事務所, ²⁾ 現秋田県農林水産部水田総合利用課, ³⁾ 秋田県農業試験場, ⁴⁾ 農研機構 東北農業研究センター, ⁵⁾ 秋田県立大学, ⁶⁾ JA大潟村	13:00	16	水稲紫黒米糯品種「夢紫」の育成を目指して 3.大仙市古代稲生産組合における現地試験の成果	○安部光男 ¹⁾ , 渡邊和善 ¹⁾ , 佐藤清紀 ¹⁾ , 原 一広 ¹⁾ , 金忠男 ²⁾	¹⁾ 大仙市古代稲生産組合, ²⁾ 仙台市在住
13:15	13:30	5 平成30年7月の気象及び登熟期の少照が水稲の収量低下に及ぼした要因	○今野周 ¹⁾ , 矢野真二 ²⁾ , 後藤元 ²⁾ , 田島大貴 ²⁾ , 相澤直樹 ²⁾ , 中場勝 ³⁾	¹⁾ 山形県農業総合研究センター水田農業試験場, ²⁾ 山形県農業総合研究センター, ³⁾ 山形県庄内総合支庁	13:15	17	水稲紫黒米糯品種「朝紫」の育成を目指して 4.育成試験の課題と今後の展開方向	○金 忠男 ¹⁾ , 安部光男 ²⁾ , 渡邊和善 ²⁾ , 佐藤清紀 ²⁾ , 原一広 ¹⁾	¹⁾ 仙台市在住, ²⁾ 大仙市古代稲生産組合
13:30	13:45	6 2018年の秋田県における移植水稲あきたこまちの減収要因の解析	○三浦恒子 ¹⁾ , 高橋一弥 ²⁾	¹⁾ 秋田県農業試験場, ²⁾ 秋田県農林水産部水田総合利用課	13:30	18	福島県浜通り地方に適した飼料用米向け多収品種の選定	○遠藤わか菜, 菅野拓朗	福島県農業総合センター浜地域研究所
13:45	14:00	7 「モンスターライス1号」の福島県浜通りにける湛水直播栽培について	○菅野拓朗 ¹⁾ , 渡邊混士 ¹⁾ , 大川泰一郎 ²⁾ , 横山正 ²⁾	¹⁾ 福島県農業総合センター浜地域研究所, ²⁾ 東京農工大学大学院	13:45	19	理科・生物学教科書における作物の使用実態調査	○露崎浩 ¹⁾ , 小野未来 ²⁾	¹⁾ 秋田県立大, ²⁾ 大潟村在住
14:00	14:15	8 水稲の高密度播種苗における無加温出芽による被覆資材の利用	工藤予志夫	青森県産業技術センター農林総合研究所	14:00	20	寒冷地におけるマコモの栽培に関する研究—含鉄資材、含マンガン資材の効果—	○佐藤 望 ¹⁾ ・松山信彦 ²⁾ ・藤澤春樹 ³⁾ ・加藤千尋 ²⁾ ・佐々木長市 ²⁾	¹⁾ 弘前大学農学生命科学部(現:株式会社 神明), ²⁾ 弘前大学農学生命科学部, ³⁾ 青森県産業技術センター農林総合研究所
14:15	14:30	9 夏期高温年の2010年における酒造好適品種系統の玄米品質	○佐藤弘一 ¹⁾ , 佐々木園子 ²⁾ , 大寺真史 ³⁾	¹⁾ 福島県農業総合センター会津地域研究所, ²⁾ 福島県会津農林事務所, ³⁾ 福島県農業振興課	14:15	21	プラウ耕で栽培したトウモロコシの生育および子実収量に及ぼす登熟初期の遮光の影響	○篠邊善哉 ¹⁾ , 松波寿典 ¹⁾ , 大谷隆二 ¹⁾ , 丸山幸夫 ²⁾	¹⁾ 東北農業研究センター, ²⁾ 筑波大学
14:30	14:45	10 冠水が移植水稲「あきたこまち」の収量に及ぼす影響	○青羽遼 ¹⁾ , 三浦一将 ²⁾ , 進藤勇人 ³⁾ , 三浦恒子 ¹⁾	¹⁾ 秋田県農業試験場, ²⁾ 秋田県鹿角地域振興局, ³⁾ 秋田県農林水産部水田総合利用課	14:30	22	大豆の連作障害回避に向けた取り組み	水多昭雄	全農宮城県本部
14:45	15:00	11 秋田県の水稲奨励品種を判定する新たなDNAマーカーセット	○小玉都子, 佐藤馨, 松本真一	秋田県農業試験場	14:45	23	ケナフに適応可能な土壌処理除草剤の検討	○丹治克男 ¹⁾ , 佐藤博志 ²⁾	¹⁾ 福島県農業センター, ²⁾ 国見町